

## 江東区長期計画と行政評価システムについて

## 1 江東区の計画の体系

- ・「江東区長期計画」は、「江東区基本構想(平成 21 年 3 月策定、期間:概ね 20 年)」に定める区の将来像「みんなでつくる伝統、未来 水彩都市・江東」の実現を目指し、10 年間の具体的な施策の方向性を示す区の最上位計画です。
- ・基本構想の折り返し地点となる令和 2 年 3 月に、前長期計画の 10 年に続く「次なるステージ」と捉え策定しました。計画の体系は下図のとおりです。



## 2 長期計画の期間

- ・長期計画の計画期間は、令和 2 年度から令和 11 年度までの 10 か年です。
- ・このうち、令和 2 年度から令和 6 年度までを前期、令和 7 年度から令和 11 年度までを後期とし、前期終了時に計画内容の見直しを行います。

## 3 長期計画の施策体系

- ・計画では、施策ごとに江東区をこのような「まち」にしたいという「目指す姿」を設定し、この目的を実現するために何をすべきか、という形で計画が構成されています。
- ・施策体系は三層構造となっており、施策を実現するための具体的な取り組みを、「取組方針」、「取組方針」を達成するための、より具体的な手段を「事務事業」としています。
- ・施策の目的の達成度を測るモノサシとして、施策に「指標」が設定されています。これは、「目指す姿」や「取組方針」の目的を指標として数値化することにより、施策の成果や進捗状況を区民に分かりやすく示すとともに、多種多様な行政課題が山積する中で、施策の目標を明確にすることで事業の優先化・重点化が可能になり、限られた財源・人・施設といった行政資源を効果的に活用することができます。



# 【長期計画の施策の構成】

施策が目指す  
江東区の姿を記しています。

施策を実現するための  
取り組みです。

第5章 分野別計画（27の基本的な取り組み）

◎ 水辺と緑を活かしたまちづくりに取り組んでいます。

## 1 水辺と緑に彩られた魅力あるまちの形成 みどりの中の都市「CITY IN THE GREEN」の実現

**目指す姿** 豊かな緑に彩られたまちの水辺と緑の空間が整備され、自然・景観美・近の連携により、さらにおいしく住める魅力あるまち、みどりの中の都市「CITY IN THE GREEN」を実現し、「CIG」といって、を表現しています。

**施策表現に関する指標**

指標名	指標の説明	数値値 (1年率)	目標値 (1年率)	対応する 取組方針
水辺と緑に彩られたまちの形成	水辺と緑に彩られたまちの形成（水辺と緑に彩られたまち）	74.4%	80%	代表指標
防災・まちづくりによる緑の整備	防災・まちづくりによる緑の整備（防災・まちづくりによる緑の整備）	52,599㎡	-	3
水辺・緑の整備	水辺・緑の整備（水辺・緑の整備）	53.41%	81.43%	1
公園整備	公園整備（公園整備）	438.7ha	540ha	2
区立施設における新たな緑化施策	区立施設における新たな緑化施策（区立施設における新たな緑化施策）	971㎡	-	3

**現状と課題**

【これまでの区を取り巻く状況】

- 江東区では、平成24年に策定した「江東区 CIG ビジョン」に基づき、緑の施策を推進してきました。しかしながら、区の緑化推進事業の総称である「CIG」という言葉自体を「知らない」と答えた区民が8割を超えており、認知されていない状況です。
- 本区の特徴を活かした水辺と緑に彩られたまちの形成やポケットエクスプレス<sup>※1</sup>の設置など、水辺と緑のネットワークづくりにより「風の道」及びエコロジカルネットワーク<sup>※2</sup>の形成を進めてきました。
- 敷地内緑化や屋上・壁面緑化及び街路樹充実など、公共施設の緑化を推進してきました。また、学童の発達支援化、芝生発生期間中の遊歩スペースの確保や維持管理におけるPTA等の協力体制など、学校運営に配慮しつつ児童の良好な状態を維持できる範囲で推進しています。

【区を取り巻く状況】

- 平成29年6月、国は、都市緑地法及び都市公園法を改正し、緑とオープンスペースが、都市のための地域のため、住民のための資産としてより一層の活用を期待できるよう、活用方法を最大限とした公園管理などが公園緑地行政の取り組みを推進しています。

【区の課題】

- 緑の活動やまちづくりに取り組む
- くらしを充実させる
- 自然の恵み

● 施策の現状と課題について、上から「これまでの区取り組み・現状」、「区を取り巻く状況（社会状況の変化や国・都の動向）」、「区の課題」を記しています。

取組方針

### 1. みんなでつくる水辺と緑

CIGの取り組みや水辺と緑の魅力や大切さを分かりやすく簡単に発信していくとともに、「みどりのコミュニティづくり推進」などの取り組みを話し、地域が一歩一歩水辺と緑を育み育てることへの関心を高めていきます。また、コミュニティガーデン活動を拡大し、緑の維持管理や、緑化指導を推進することにより、区民・事業者・区が連携して、美しい緑を創出するとともに、より多くの区民が水辺と緑の活動に参加できる仕組みづくりを推進します。

● 主な事業 …… 【主要】CITY IN THE GREEN 民衆緑化推進事業、みどりのまちなみづくり事業、みどりのボランティア活動支援事業、自然とのつきあい事業

### 2. 水辺と緑のネットワークの形成

水辺と緑に親しめる散歩道を整備し、水辺と一体となった緑化空間を形成することにより、ヒートアイランド現象の緩和や、生物多様性に配慮した水辺と緑のネットワークづくりを進めます。また、地域のニーズを反映しながらコミュニティ緑地につながる公園等の整備・改修を計画的に行い、区民に親しまれ親もが安心して利用できる魅力ある公園づくりを行います。さらに、四季折々の水辺と緑の魅力を活かして、区内内外の多くの人々が集うにぎわいの場を創出します。

● 主な事業 …… 【主要】区立公園の改修、【主要】水辺・緑地の散歩道の整備

### 3. 公共施設の緑化

公共施設等の緑化にあたっては、率先して質の高い緑を充実していくこととし、学校をはじめとする区立施設では、改築・改修等に合わせ緑豊かな施設整備を推進していきます。また、道路樹、水辺・緑地の散歩道及び区立公園・児童遊園の緑は、計画的かつ適正に維持管理を行い、良好なまちなみを形成します。

● 主な事業 …… 【主要】CITY IN THE GREEN 公共緑化推進事業、公園維持管理事業、児童遊園維持管理事業、道路樹等維持管理事業

関連する個別計画

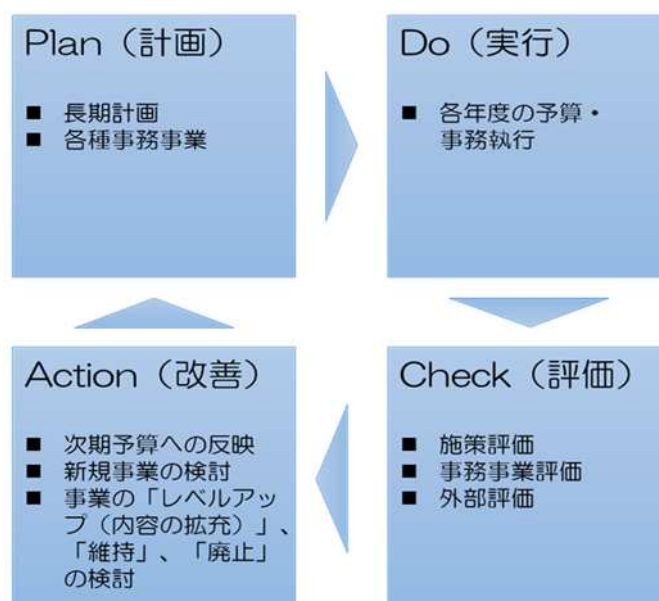
江東区みどりの基本計画

※1 ポケットエクスプレス＝子どもが、遊び、散歩などを楽しめるための、まちづくりの取り組みのこと  
 ※2 エコロジカルネットワーク＝生物多様性を高め、生態系を回復するための、緑地・水辺のネットワークのこと

- 施策の成果や状況を測るモノサシで、分かりやすく単純化・数値化した形で表したものです。
- 指標には、講座の開催回数、道路の整備延長など、行政活動の提供量を測るアウトプット指標と、住民、経済、環境など行政外部の変化を示すアウトカム指標があります。
- 基本的に、施策ごとに施策を代表するアウトカム指標を1つ、さらに、取組方針ごとにアウトカム又はアウトプット指標を1つ設けることとしています。

#### 4 長期計画の進行管理と行政評価システム

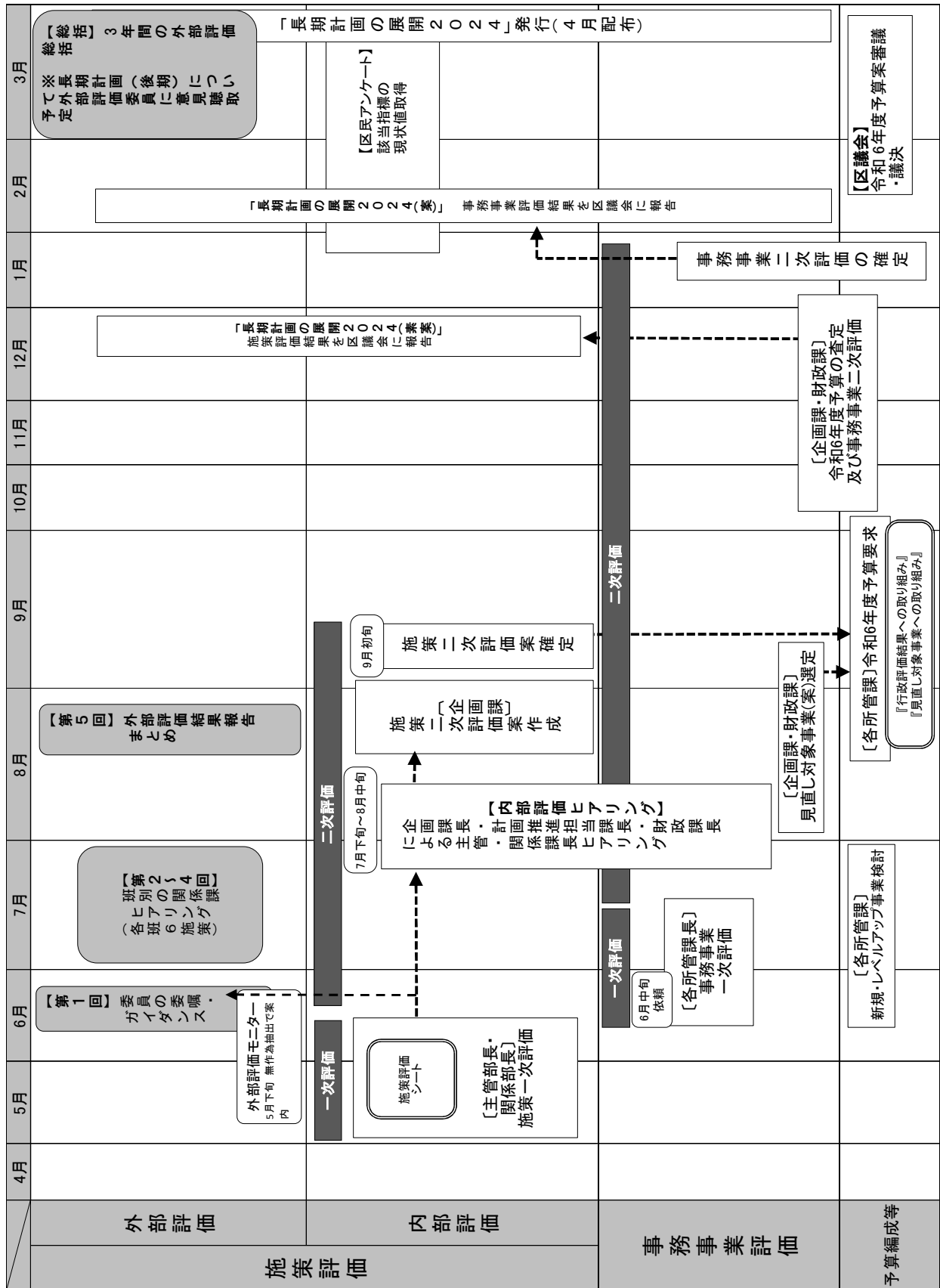
- ・三層の施策体系からなる長期計画の進行管理を効果的に実施するため、江東区では平成 13 年度より行政評価システムを導入しています。
- ・具体的には、「施策」については、毎年度、各施策の「指標」の達成状況等に基づき、施策の取り組み状況を検証することにより、今後の方向性を定めていきます。
- ・また、「事務事業」については、「取組方針」への貢献度等を視点として、毎年度、全事務事業の評価を行い、次年度の方向性を定めます。



#### 5 行政評価の流れ(施策評価)

一次評価	5・6月	全施策の今後の方向性等について、施策の主管部長が関係部長と調整の上、評価を実施します。
外部評価	6～8月	外部評価対象施策の今後の方向性等について、一次評価結果に基づき、外部評価委員会が評価を実施します。
二次評価	6～9月	全施策の今後の方向性等について、一次評価・外部評価の結果を踏まえ、企画課で二次評価(区の最終評価)の原案を作成し、9月に二次評価(案)をまとめます。二次評価(案)は、各所管へ通知され、各所管は当該評価結果に基づき予算要求を行います。

参考 令和5年度行政評価スケジュール







## 2 江東区の人口動態

- 本区の人口は平成9年以降増加に転じ、平成27年には50万人を超えた。その後も人口増加が続いてきたが、令和4年に25年ぶりに総人口が減少したが、令和5年には再び増加に転じ、令和5年4月対前年同月比の人口増加は8,220人となり、東京都内で1位であった。
- なお、近年の特徴として平成31年以降0～4歳人口が減少傾向にあるほか、新型コロナウイルスの影響と思われる外国人登録者数の減少が落ち着き、再び増加している。
- 地区別人口構成比では豊洲、小松橋、東陽の構成比が増加し、相対的に大島、砂町、南砂では構成比の減少がみられている。

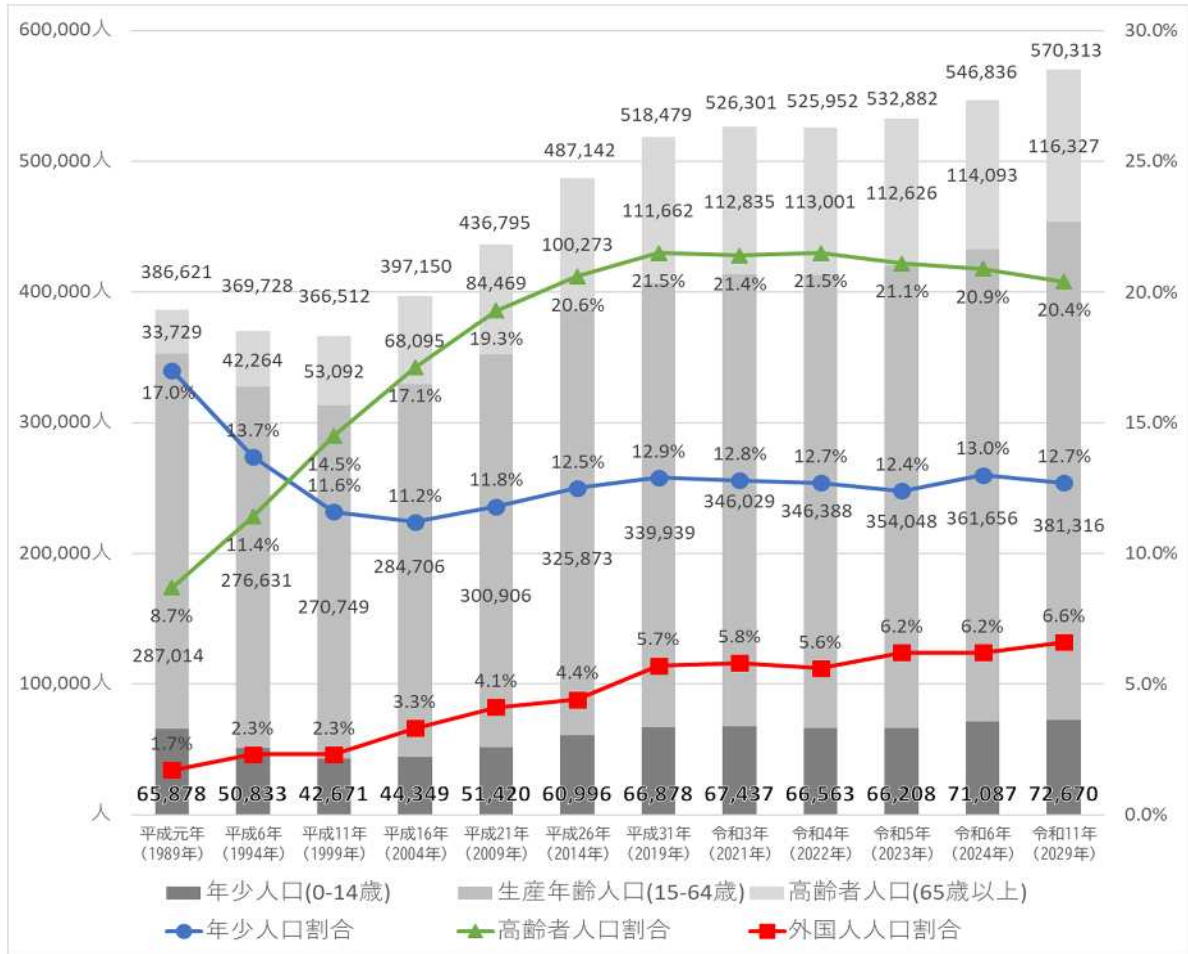


図 江東区年齢階級別人口・構成比、外国人構成比推移(各年1月1日時点)

※住民台帳基本台帳法改正に伴い平成25年以降の人口数値には外国人を含む

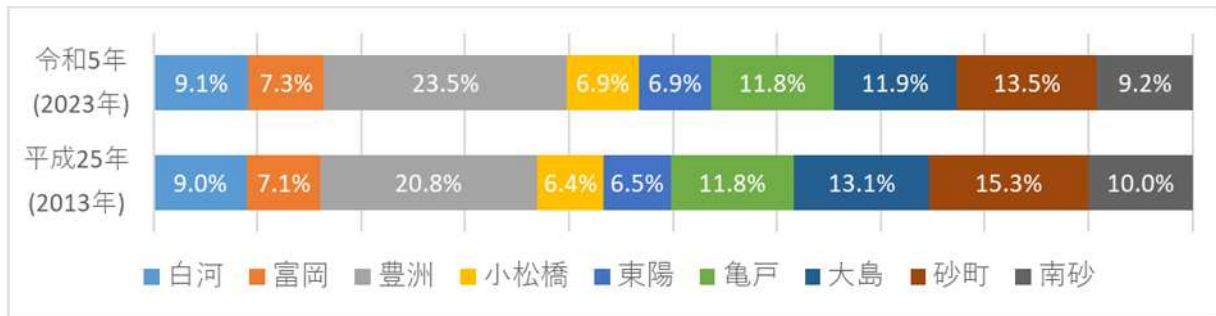


図 江東区地区別人口構成比(10年前と現在)



参考図 江東区地区区分図

### 3 区の財政

- 一般会計予算額は人口増加等に伴い増加傾向が続いている。
- 令和 2～4 年度は、新型コロナウイルス感染症対応等の影響による補正予算編成により、当初予算額から大幅な増額となった。
- 令和5年度当初予算額は令和4年度当初予算額対比+3.2%となる337,665百万円である。

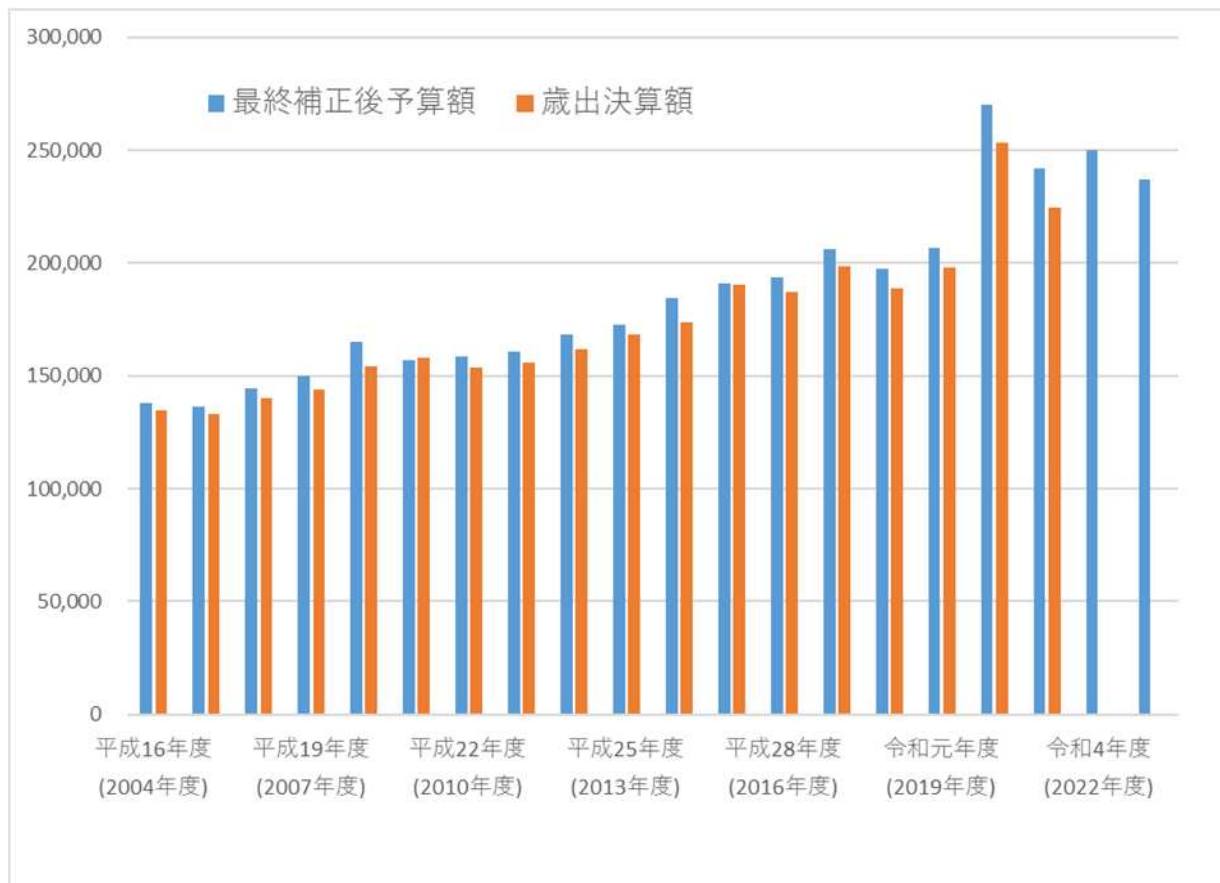


図 江東区一般会計予算額推移 (単位:百万円)  
(令和4年度までは最終補正後予算額、令和5年度は当初予算額)

表 令和4・5年度当初予算比較 (単位:百万円)

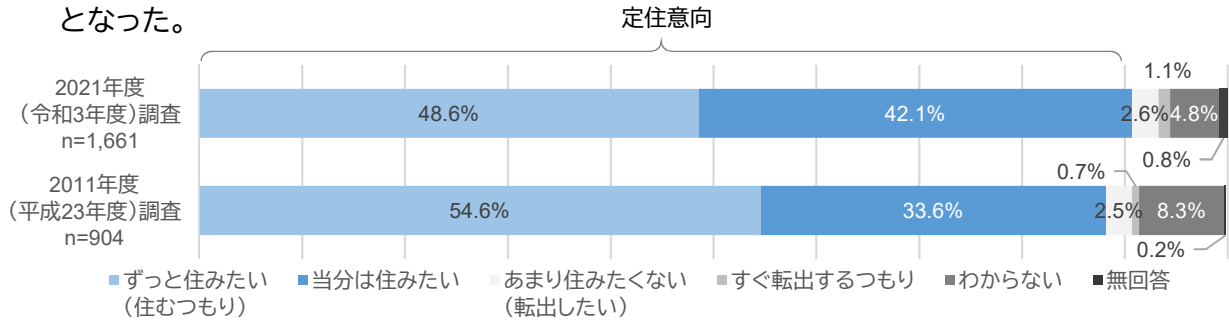
	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	増減率
一般会計	228,421	237,004	3.8%
国民健康保険会計	48,800	49,237	0.9%
介護保険会計	38,761	39,229	1.2%
後期高齢者医療会計	11,335	12,195	7.6%
合計	327,317	337,665	3.2%



## 4 区民の意向 令和3年度世論調査より

### 4.1 定住意向

- 令和3年度調査において90.7%の区民が定住意向である。  
(前回:令和元年度調査の90.0%より微増)
- 10年前(平成23年度88.2%)と比べ、定住意向割合が増加し、転出意向割合はほぼ横ばいとなった。



### 4.2 施策への要望 3つまで回答可の設問、第1～第3順位の合計

- 前回調査(令和元年度)と同様、防災対策が突出して高く、40.8%の回答者が要望している。
- 健康・医療・衛生施策に対する要望が高まっており、これは、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う健康施策への関心が高まっていることが要因と考えられる。

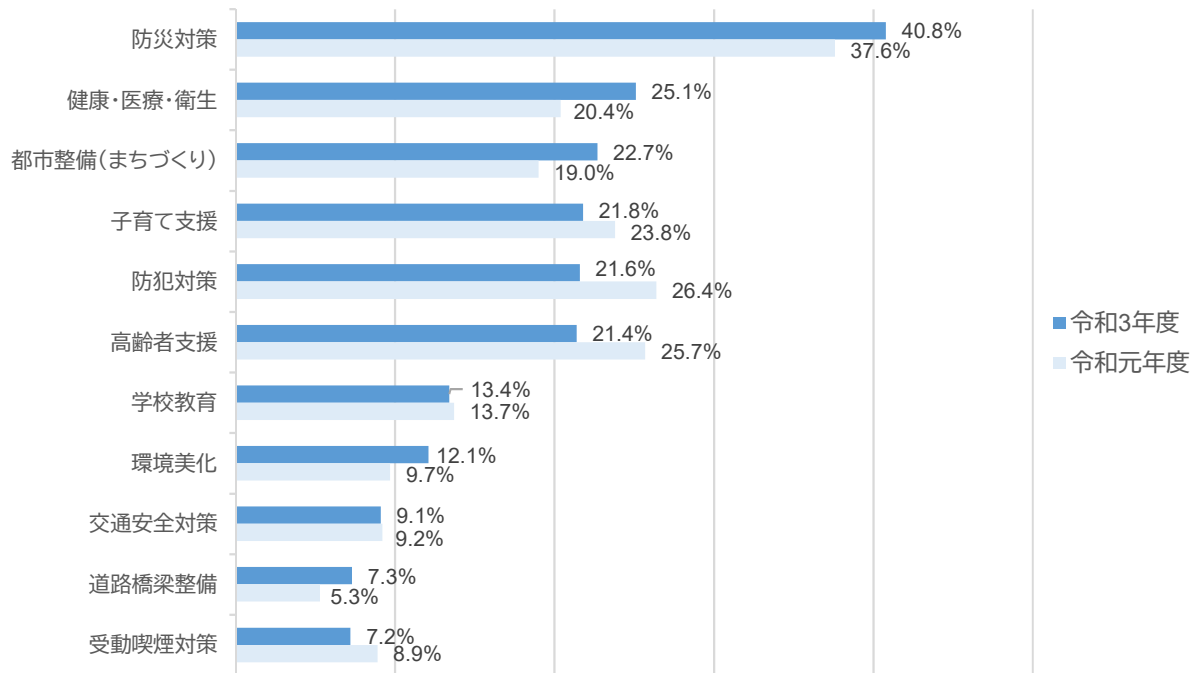
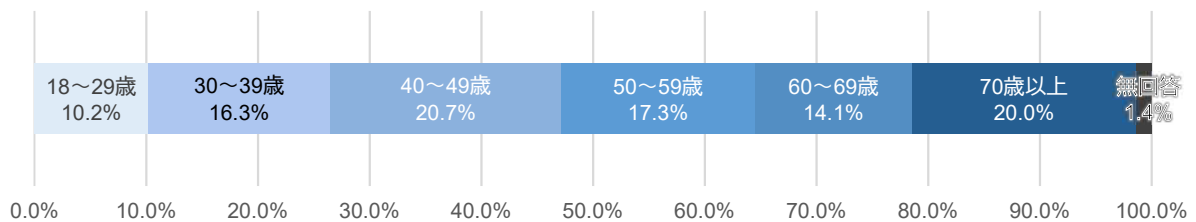


図 施策への要望 (n=1,661)



参考図 回答者の年齢構成比

## 5 区の主要課題 江東区長期計画より

### 5.1 重要課題 地下鉄 8 号線の延伸

- 区の南北を結ぶ交通網の利便性を高め、江東区の新たなまちづくりを進めるために「地下鉄 8 号線(有楽町線)の延伸」の早期実現を目指す。
- 東京 8 号線延伸計画について、関係者間で技術的検討を進めることを目的に、令和 2 年 1 月より、国土交通省、東京都、東京地下鉄株式会社が参画する「東京 8 号線延伸の技術的検討に関する勉強会」が開催されている。
- 「東京ベイ eSG プロジェクト(Ver 1.0)」(東京都、令和 3 年 4 月)において「地下鉄 8 号線延伸、羽田空港アクセス線などについて順次事業化に着手するとともに、区部中心部と臨海副都心を直接繋ぐ、臨海地下鉄の事業化に向けた検討を行っていく。」と明記された。
- 令和 3 年 7 月、国の交通政策審議会答申において、地下鉄 8 号線延伸は「早期の事業化を図るべき」とされた。これを受け、東京メトロは令和 3 年 8 月に十分な公的支援等を前提に地下鉄 8 号線延伸の事業化に向けて取り組むことを表明した。
- 東京メトロは、令和 4 年 1 月に地下鉄 8 号線延伸の鉄道事業許可を国土交通大臣に申請し、令和 4 年 3 月 28 日付で国土交通大臣より許可を受けた。
- 令和 5 年 3 月、「江東区地下鉄 8 号線沿線まちづくり構想」を策定。地下鉄 8 号線沿線のまちづくりの方向性を示すとともに、整備効果の最大限の活用や沿線の地域住民の意見などを反映した分析整理を取りまとめる。

## 5.2 重点プロジェクト

重点 1	水彩・環境都市づくり
	区の特徴である水辺や緑を活かすとともに、環境施策を推進することで、持続可能な社会の構築を目指します。
重点 2	未来を創るこどもを育むまちづくり
	妊娠・出産期から就学後における、子育てや教育などの多様なニーズに切れ目なく対応することで、こどもたちが健やかに成長できる社会の構築を目指します。
重点 3	地域の活力を生み出すまちづくり
	にぎわいと活気にあふれた地域コミュニティ、地域経済の発展を目指します。
重点 4	高齢者など誰もが支えあう社会づくり
	人・地域がつながり、支えあいながら暮らすことができる環境を整備し、地域共生社会の実現を目指します。
重点 5	防災都市江東戦略
	首都直下地震や激甚化する風水害など、各種災害へのあらゆる事態を想定した防災体制の整備を図り、防災都市江東の実現を目指します。
重点 6	オリンピック・パラリンピックレガシーの継承
	東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の成果を江東区全体に波及させ、スポーツ等を通じて、誰もが健康で生き生きと暮らせる社会を目指します。
重点 7	臨海部のまちづくり
	広大な水辺・緑やスポーツ・観光等を通じ、ベイエリアの魅力を最大限に活かしたまちづくりを推進します。